公益財団法人愛知教育文化振興会

教育と文化

No.136
令和6年11月

令和6年度「みかわ彩発見絵画コンクール」春・夏の部　最優秀作品

Contents

P2　巻頭言　遥かなる声－刊行物事業の「今」－
P4　三河の文化を訪ねて「受け継がれる 郷土の偉人『石川丈山』の世界」　丈山小（安城）
P6　特集　演習類が変わります！
P11　教室の窓辺「クラスタイムを活用した集団づくりの充実に向けて」　吉浜小（高浜）
P12　特色ある教育活動「未来SOUZOU」　田原中（田原）
P13　令和６年度個人研究助成「１年次・２年次・３年次被助成者」
P15　研究成果論文提出者の紹介（「令和３～５年度の研究者10名」）
P16　文振だより「中学校版大改訂」

巻頭言

遥かなる声
－刊行物事業の「今」－

公益財団法人愛知教育文化振興会常務理事　稲垣　良治

「…文振が進めていこうとしている刊行物事業の見直しについてである。採用率が減ってきた刊行物の休刊や廃刊を検討することは、わからなくもない」

7月2日に開催した本法人の事業推進について助言をいただく運営審議会で、一人の委員が切り出し、こう続けられました。

「数字で判断するだけでなく、先輩方が大事にしてきたことを、今一度考えた方がいい。立ち止まってほしい」

文振への期待

平成29年、三河の教育や文化の拠点とすべく三河教育会館が完成しました。同年、愛知教育文化振興会（以下、本法人）は設立60周年を迎え、当時の佐々木尚也理事長は三河教育への貢献を次のように期待されました。

「本法人が、三河の教師の総力を結集し、子どもを大切にするために教師の志と力を育て、もって三河の教育風土を醸成することで、次代の三河に寄与することを願う」（記念誌より）

その主な手段が、学習資料（刊行物）の編集・発刊です。

刊行物事業を通した、学校現場への貢献…「昭和」

昭和32年、6品目からスタートした刊行物事業も、昭和56年には小中学校併せて38品目となり、現在と似た顔触れが出揃いました。同年に発刊された「教育と文化」第5号にある三ツ谷茂理事長事務代行の「三河部の多数の各位から『我々が必要とするものを作ってくれるようになった。内容が非常によくなってきた』という御理解をいただき、採用数も逐年増加してきた事は、まことに喜ばしい」という言葉が、刊行物事業を通した学校現場への順当な貢献を物語ります。

それを裏付けるのが、続く第7号に掲載された「地域の子どもに適した教育資料を、現場の先生方が情熱を傾けて作っている姿は、実に尊く、この先生と教育資料は生きている」という新聞記事であり、佐々木元理事長の期待は、本法人に関わり三河というフィールドで教育振興に携わってこられた先人の願いであると推察させてくれます。

刊行物事業の安定と翳り…「平成」「令和」

平成の30年間、小学校版刊行物の7割が50％以上の採用率を保ち、中学校版刊行物でも27年間、同様の採用状況でした。昭和の勢いは、平成になって安定期を生みました。

その反面、平成15年以降、採用率が30％に満たない刊行物が出始めました。慢性的に伸び悩む刊行物、80％以上の採用から急激に落ち込む刊行物が散見されるようになり、その傾向は、令和に入るとさらに顕著になっていきました。

外部の有識者からは、「原点に立ち返ったとき、多くの課題が解消されるのではないか」などの助言をいただくようになりました。

見直しへの着手

こうした状況を鑑み、本年度、本法人編集部を中心に、次の学習指導要領改訂を見据え、採用率や採用市町村などの【公益性】、編集委員数や編集時間などの【適正】、そして、販売数と頒価から生ずる教育助成に必要な予算などの【利益】という視点からなる「刊行物見直しの概要」を作成し、運営審議会で提案しました。

冒頭の意見が出されたのは、その時でした。さらに、他の委員から「長い歴史、長い時間が経つと、どんな組織にも疲労がたまる」といった指摘もいただきました。

「先輩方が大事にしてきたことは何か」

「組織の中で、在り様が変わったところはどこか」などの問題意識をもって、刊行物編集にまつわる歴史をもう一度遡りました。

遥かなる声

昭和53年、本法人も財団法人として21年目を迎えました。「成人」を祝し、新たな出発をするために、当時の後藤金好理事長は、大切にしたいことを3つ述べる中で、

「第2は刊行物の質的向上である。こうした事業を行う以上、現場からの要求を満たすものにしたい。そこで、2年前から三教研に委嘱して編集委員会を構成し、……現場がどうしても必要とするものを、委員たちの惜しみなき協力によって、十分にその要求を満たしうる形に仕上げていただき、その成果を現場に届けたいのである」

との願いを著しています。

後藤元理事長は数年前から、こうした思いを様々な場で伝えており、それを具現化するために、当時の栗木会長以下4名の三教研役員が、昭和50年10月、信濃教育会を視察しました。当時の信濃教育会は、別組織であった信濃教育出版部と連携し、会員の研究成果をそのまま出版物とするなど、現場の教育実践と直結した機構でした。

そうした背景から、昭和50年代前半に組織が整備されたこと、それが現在に引き継がれていることは想像に難くありません。併せて、「現場がどうしても必要としているものを届けたい」という半世紀前から届く声は、今も続く思いと捉えることに異論をもつ方はいないでしょう。では、「届けられているか」と問われたら、私たちはどう答えたらよいのでしょう。そうした声と対峙した時、変えたい現実が見えてきました。

刊行物再生の意味

くしくも、6月24日に開催した三河校長会・三教研・本法人の三者による合同会議「三燦会」で、三教研の夏目副会長は「大きな誇りをもち、刊行物編集の原点にふれ、つなぎ、高める、刊行物の編集」という本年度の取組を提案し、「理想に溢れた創世時の価値ある編集姿勢に学び、影響を受けることで、意識の高まりが期待できる。併せて、編集に関わった委員が自身の貢献に誇りや自信をもつと同時に、よりよい編集に向けた責任感と力量の向上につなげたい」という思いを吐露しました。

三教研の真摯な姿勢に、昭和50年代の組織整備と、その過程で沸き上がる三河教育への気概を重ねずにはいられません。そして、改めて刊行物事業を生み、育んでこられた方々の思いの深さに身震いしました。私たちは、刊行物の内容や発刊の形態、とりわけ、編集に係る三教研と本法人の役割を見直し、その精神を「今」そして「次代」へとつなげていかなければならないのです。

三河の教師がつくる価値

昨今、大手企業によるタブレットを利用した学習資料のＰＲが学校現場で激しさを増しています。ドリル的な資料に関しては、豊富な問題量や迅速な採点に感じ入るところがあります。しかし、授業や学びの評価といった側面から見れば、本法人の刊行物に一日の長があります。それは、授業実践の主体者である先生方が編集に携わっていることが大きな要因です。

今後、他社の学習資料に任せるところも出てくるかもしれません。しかし、本法人の刊行物が、採用率の多少はあるにせよ、三河各地で使われている、使われる可能性がある限りは、併せて、「三河教育」という言葉がなくならない限り、三河の将来を考え、三河の伝統をつなぐものとして、本法人の刊行物事業が、今後も三河に根付いていくものと確信しています。

平成29年1月、私は熱海市で開催された関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会に出席しました。そこで、本部の事務局長は、学校独自で新幹線などの輸送手段を確保しようとする動きに、警鐘を鳴らしました。

「連合体輸送は、安全な修学旅行を望む学校と、それに協力したい旧国鉄の願いが相まって、50年以上も前から始まった。昨今のような、自分の学校や地区の事情から連合体を離脱する動きが加速すれば、旅行日が集中し、交通手段だけでなく、宿泊場所や体験・見学場所を確保することが難しくなり、日本から修学旅行という文化が消えてしまう」

『修学旅行』を『三河教育』に置き換えることで、想像できることがあります。

「過去」から届く声たちに耳を澄ませば、「今」をどう生き、「次代」に何を残さなければいけないか、聞こえてきそうです。

受け継がれる郷土の偉人「石川丈山」の世界

安城市立丈山小学校長　柴田　辰之

安城市立丈山小学校は、安城市の南部に位置する和泉町にあり、学校名に人物の名前が入る珍しい学校です。その人物は、「石川丈山」。和泉町の誇る郷土の偉人です。

丈山は、武士として徳川家康に仕え、多くの手柄を立てた逞しい武人でした。また、江戸時代初期を代表する漢詩人であり、隷書をわが国で初めて取り入れた書家としても知られるほか、作庭家でもあり、煎茶（文人茶）においては日本の開祖であると言われ、文人としても高い評価を受けています。

そのような文武の道で名を残した丈山は、地域の誉として今もなお大切に受け継がれています。

丈山小学校の児童も、毎年、修学旅行や校外学習、総合的な学習の時間などの教育活動を通して、石川丈山の人物像やその世界にふれ、学んでいます。

郷土の偉人　石川丈山

石川丈山は、安土桃山時代、天正11年（1583）に石川信定の長男として三河国碧海郡泉郷（現在の安城市和泉町）に生まれました。

丈山は、熱心に武術の稽古に励み、16歳で元服して徳川家康の近習となり、その後関ヶ原の合戦などで、数々の手柄をたてています。

その後、「大坂夏の陣」で先登（一番乗り）を切り功績を上げますが、軍令違反に問われ蟄居しました。

丈山はこれを契機に武人としての悩みをとき、学を志すようになりました。そして、朱子学者の林羅山を介して藤原惺窩と出会い、儒学の教えを受けるなかで自分の進むべき道を見つけたのです。

母に孝養をつくすため、やむなく広島藩の浅野家に学者として仕えますが、母が歿した後は京都へ帰り、一乗寺に詩仙堂を開き、林羅山らの文人と交友し、漢詩・書・作庭、また煎茶の世界において、江戸初期の文人として活躍しました。

丈山が終の栖として建てた詩仙堂。丈山は、林羅山と論議して意を通し、中国の漢・晋・唐・宋時代の詩人36人とその漢詩を選定し、「三十六詩仙」とします。詩仙の絵は狩野探幽に描かせたと伝わり、各詩仙の詩は丈山が隷書体で板に書き額にし、部屋の鴨居の上四方に掲げます。この部屋を「詩仙の間」と称し、詩仙堂の名の由来となりました。

丈山は、詩仙堂において、贅を求めず、自然を愛し、心を豊かにして何物にも屈しない自由を求めようとして自己を育てました。そして、文人としての生涯をここで送り、独身を貫き90歳の天寿を全うしました。

毎年、丈山小学校の児童は修学旅行で京都の詩仙堂を訪れ、郷土の偉人・石川丈山について学習をしています。丈山小学校は昭和46年に開校し、50年以上経ちますが、当時の修学旅行から詩仙堂を訪問し、学習していることが幾人かの卒業記念文集の記録から分かります。特別に団体での見学を受け入れていただいている詩仙堂の訪問は、今でも引き継がれています。

丈山翁像＜丈山苑＞

丈山の遺徳を偲ぶ　丈山苑

江戸時代のはじめ、武士を捨てた丈山が京都一乗寺に建てた詩仙堂。そのイメージを誕生地である、この和泉の地に再現した丈山苑は、文人石川丈山の心を汲み取るための空間として平成8年5月に開苑しました。石川丈山を敬愛する同郷の澁谷良平が丈山の生地が荒廃していたのを嘆き、私財を投じて買収し、和泉村に寄贈して整備された「丈山公園」の地に造られたのです。現在、良平筆による石碑「石川丈山翁邸址」が丈山苑北門に建っています。

苑内の建物は、詩仙堂を彷彿とさせる木造建築で「詩泉閣」と名づけられています。邸内は、探幽の「画」、丈山の「賛」と伝えられる三十六詩仙の詩仙堂額（複製）をはじめ、隷書体の書幅など、丈山の感性をしのぶことのできる雰囲気を醸し出しています。

庭園は、丈山の作庭した詩仙堂、東本願寺渉成園（枳殻邸）、田辺の酬恩庵（一休寺）の三庭園をイメージし、唐様庭園・回遊式池泉庭園・蓬莱庭園を組み合わせた本格的なものであり、処々に丈山の漢詩碑も配しています。

丈山は69歳の時、故郷和泉郷に帰ることを京都所司代に願い出たが、許されませんでした。その望郷の念を受け止め、和泉にある丈山翁像が、今度は京の方向を振り返って見ています。

丈山苑では、竹林の中の詩泉閣等の建物・書幅・石碑・庭園を眺めながら「茶」をすることにより、漢詩人・書家・作庭家・茶人と、それぞれの風雅を究め、仙人のように生きた丈山の世界を堪能することができます。

本校から徒歩で約5分の距離にある丈山苑で、児童は苑をモチーフにした写生を行ったり、抹茶を体験したりして、丈山の世界を感じています。

詩泉閣＜丈山苑＞

児童抹茶体験＜丈山苑＞

睡竹堂時代の丈山を偲ぶ　丈山文庫

丈山苑の北西約300メートルのところに、丈山文庫があります。

丈山文庫は、昭和44年（1969）、愛知教育大学名誉教授神谷義郎氏が私財を投じて、京都市左京区田中野神町「睡竹堂」跡から、建物「学甫堂」を始め、丈山ゆかりの石灯籠やつくばい（手水鉢）などを搬入するとともに、丈山に関係した書籍や資料を数多く集めて石川丈山を学ぶ場として設立されたものです。

丈山は、広島から京都へ帰り、終世隠棲の地を求め、後に一乗寺に決定するまでの間は、相国寺畔の「睡竹堂」に住んでいました。その屋敷に「学甫堂」という萱葺きの3畳の建物をたてて書斎としていたのです。

児童は、丈山文庫にも毎年訪問し、責任者の神谷氏より丈山文庫の資料の説明だけでなく、石川丈山の生い立ちや武士としての活躍、漢詩や隷書の勉強に励んだ文人としての丈山について詳しく聞くなど、大変貴重な経験をすることができています。

学甫堂＜丈山文庫＞

おわりに

郷土の偉人石川丈山を偲ぶ場所やもの、そして丈山を語り継いでいる地域の方々を大切にしている和泉町。本校の児童には、その思いを受け継ぎ、これからも学校や地域を愛する人に育ってほしいと願っています。

主な参考文献
「和泉町の歴史」「丈山苑案内記」

三河の先生の声をもとに、三河の先生の手作りによる、
三河を題材に取り入れた、

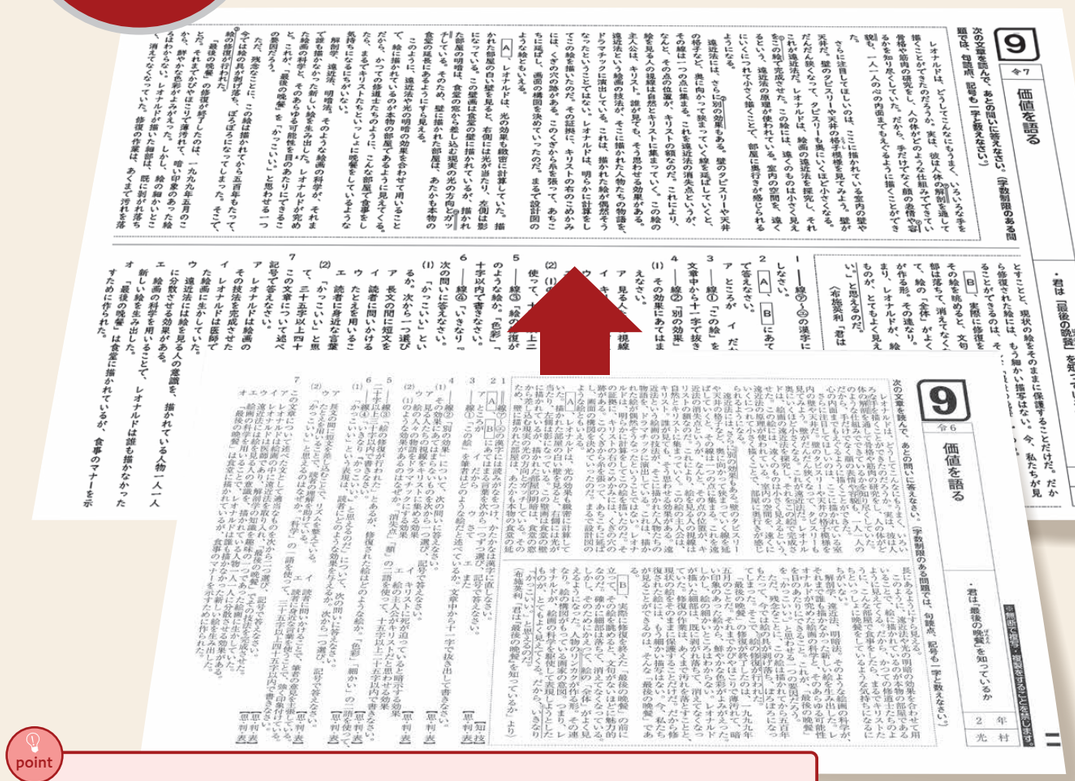
特集 演習類が変わります！

Renewal

国語 JAPANESE LANGUAGE

新たに

- 紙面を従来のA4判から、ゆとりあるB4判に拡大します。
- フォントを従来の明朝体から、読みやすいUDデジタル教科書体に変更します。
- 視点移動が減るように、問題文と問題が流れるように続く二段組にします。



point

問題内容もさらに充実！

- 新たな教科書作品にも対応
- 継続掲載作品の問題も、新たな視点で問題を見直し、ブラッシュアップ
- 観点別評価に対応
- 選択問題と記述問題のバランスを考慮
- 思考力や判断力の伸長に寄与する問題の充実

文振版
リアテンダント対応

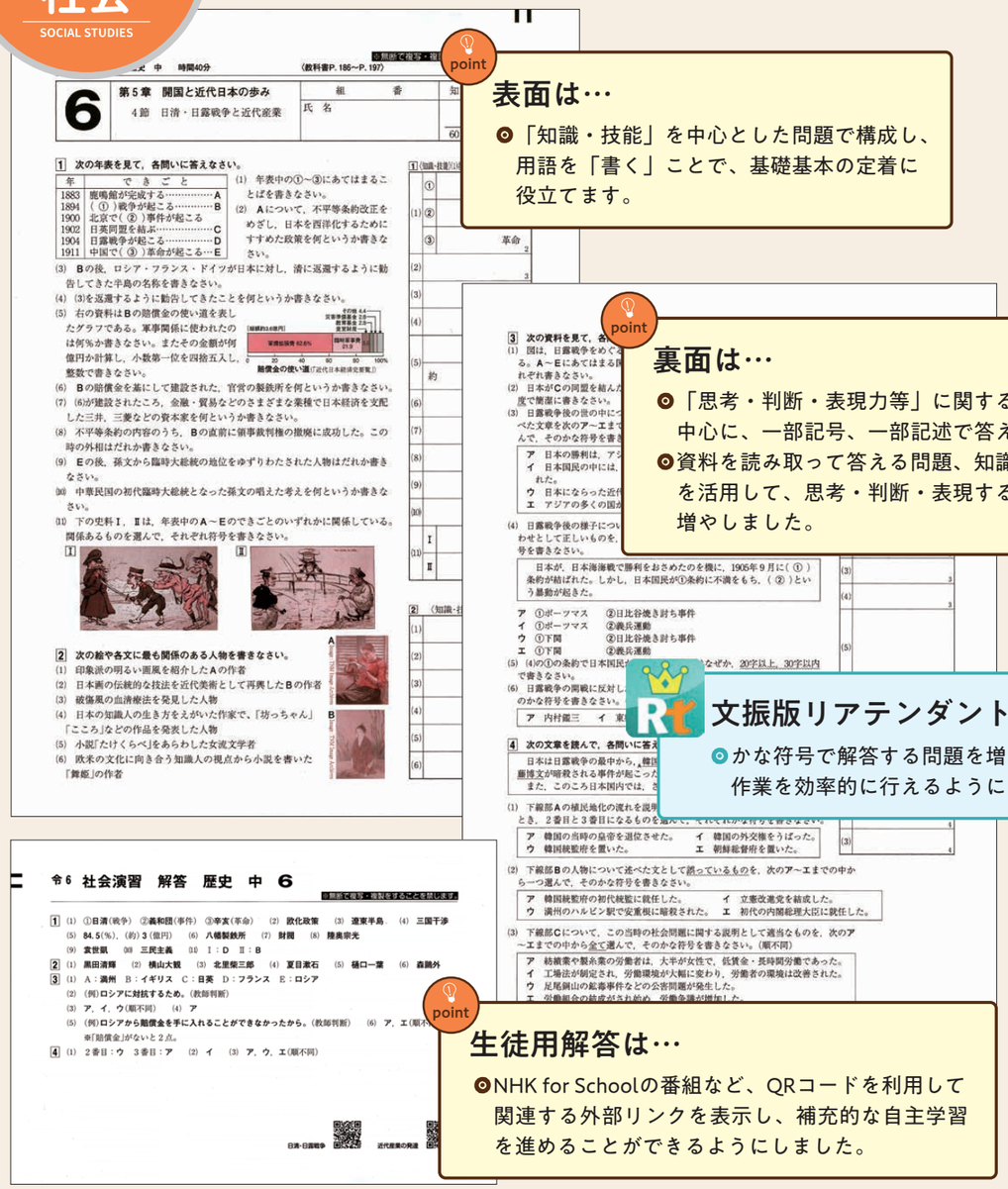
編集委員の声

●これまでのレイアウトは詰めすぎて、大人が見ても抵抗感がありました。大改訂版は、紙面がすっきりし、ずいぶん取り組みやすくなると思います。生徒もやる気になるでしょう！

社会 SOCIAL STUDIES

新たに

- 生徒用解答に、基本的な用語について「一問一答」形式で習得するための追加資料を、QRコードから提供します。



point

表面は…

- 「知識・技能」を中心とした問題で構成し、用語を「書く」ことで、基礎基本の定着に役立てます。

point

裏面は…

- 「思考・判断・表現力等」に関する問題を中心に、一部記号、一部記述で答えます。
- 資料を読み取って答える問題、知識・技能を活用して、思考・判断・表現する問題を増やしました。

文振版リアテンダント対応

- かな符号で解答する問題を増やし、採点作業を効率的に行えるようにしました。

point

生徒用解答は…

- NHK for Schoolの番組など、QRコードを利用して関連する外部リンクを表示し、補充的な自主学習を進めることができるようにしました。

生徒の声

●定期テストに向けての学習に役立てています。
●プリント学習の後、QRコードから動画で学習できるので、楽しみながら復習に取り組めました。

編集委員の声

●記号による解答、記述による解答のバランスに配慮しました。
●新たに作成するQRコードの「一問一答」は、生徒の自学自習に役立ててほしいです。

理科
SCIENCE

新たに

◎新教科書に準拠した問題を作成
教科書と合わせて指導ができるよう、問題の配列を工夫しました。

理科演習〈単元4〉　3年　〈教科書 P.184～P.197〉

12　令7 理科

2．化学変化と電池
1　イオンへのなりやすさ
2　電池とイオン
3　いろいろな電池

氏　名

1 下の図のように，マイクロプレートの横の列に同じ種類の水溶液，縦の列に同じ種類の金属を入れ，金属の種類によるイオンへのなりやすさを調べた。表はその結果を表したものである。

	マグネシウム板	亜鉛板	銅板
Mg^{2+}を含む水溶液	変化なし	変化なし	変化なし
Zn^{2+}を含む水溶液	金属板がうすくなり，黒い物質が付着した。	変化なし	変化なし
Cu^{2+}を含む水溶液	金属板がうすくなり，赤い物質が付着した。	金属板がうすくなり，赤い物…	変化なし

(1) 亜鉛板をCu^{2+}を含む水溶液に入れたとき，亜鉛板に付着した物質は何か。
(2) (1)のとき，イオンに変化した物質は何か。
(3) マグネシウム板をZn^{2+}を含む水溶液に入れたとき，マグネシウム原子とZn^{2+}に起こる変…応式で表せ。
(4) この実験で用いた3種類の金属をイオンになりやすい順に並べよ。

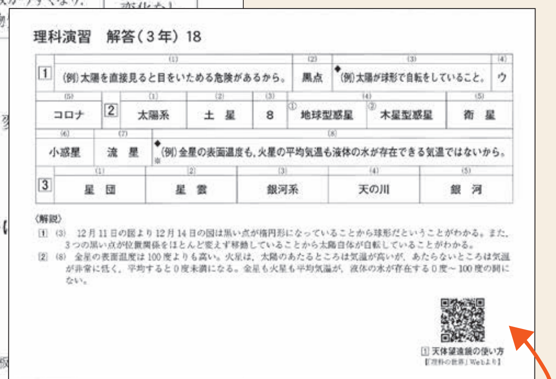
2 下の図は，硫酸亜鉛水溶液に亜鉛板を，硫酸銅水溶液に銅板を入れて電子オルゴール…池から電気エネルギーをとり出した実験を模式的に表したものである。
(1) 銅板と亜鉛板のどちらが＋極か答えよ。
(2) 電子が流れている向きはa，bどちらか。記号で答えよ。
(3) 金属板や水溶液の変化から，銅板や亜鉛板では，どのような化学変化が起こったと考えられるか。それぞれ化学反応式で答えよ。
(4) 電子オルゴールの音が鳴り続けたとき，硫酸銅水溶液の色はどのようになるか。
(5) 実験装置に用いたセロハンをガラス板に変えると，電子オルゴールの音はどうなるか。

3 いろいろな電池について答えなさい。
(1) 水素と酸素を利用するなど，燃料が酸化される化学変化から，電気エネルギーをと…
(2) 充電ができない電池を何というか。
(3) 充電することで繰り返し使える電池を何というか。
(4) 次のア～カは(2)と(3)のどちらの電池のなかまか。ア～カからそれぞれすべて選…
ア　アルカリ乾電池　イ　鉛蓄電池　ウ　ニッケル水素電池
エ　リチウムイオン電池　オ　リチウム電池　カ　ボルタ電池

1 (1) 銅(Cu)	(2) 亜鉛(Zn)	(3) マグネシウム原子◆※ $Mg \rightarrow Mg^{2+} + 2e^-$	Zn^{2+}◆※ $Zn^{2+} + 2e^- \rightarrow Zn$	
(4)◆ マグネシウム(Mg) → 亜鉛(Zn) → 銅(Cu)	2 (1) 銅　板	(2) b	(3) …	
亜鉛板◆※ $Zn \rightarrow Zn^{2+} + 2e^-$	(4)◆ うすくなる	(5)◆ …		
3 (1) 燃料電池	(2) 一次電池	(3) 二次電池	(4) (2) ア，オ，カ（完答）	…

各1点（※のみ2点）　◆は思考・判断・表現の問題を示す

point
◎教科書と合わせて指導がしやすいよう、対応する教科書のページを明記しています。


理科演習　解答（3年）18

1 (1) (例)太陽を直接見ると目をいためる危険があるから。	(2) 黒点	(3) ◆(例)太陽が球形で自転をしていること。	(4) ウ

(5) コロナ	2 (1) 太陽系	(2) 土　星	(3) 8	(4) ①地球型惑星 ②木星型惑星	(5) 衛　星	
(6) 小惑星	(7) 流　星	(8) ◆(例)金星の表面温度も,火星の平均気温も液体の水が存在できる気温ではないから。				
3 (1) 星　団	(2) 星　雲	(3) 銀河系	(4) 天の川	(5) 銀　河		

〈解説〉
1 (3) 12月11日の図より12月14日の図は黒い点が楕円形になっていることから球形だということがわかる。また，3つの黒い点が位置関係をほとんど変えず移動していることから太陽自体が自転していることがわかる。
2 (8) 金星の表面温度は100度よりも高い。火星は，太陽のあたるところは気温が高いが，あたらないところは気温が非常に低く，平均すると0度未満になる。金星も火星も平均気温が，液体の水が存在する0度～100度の間にない。

1 天体望遠鏡の使い方【「理科の世界」Webより】

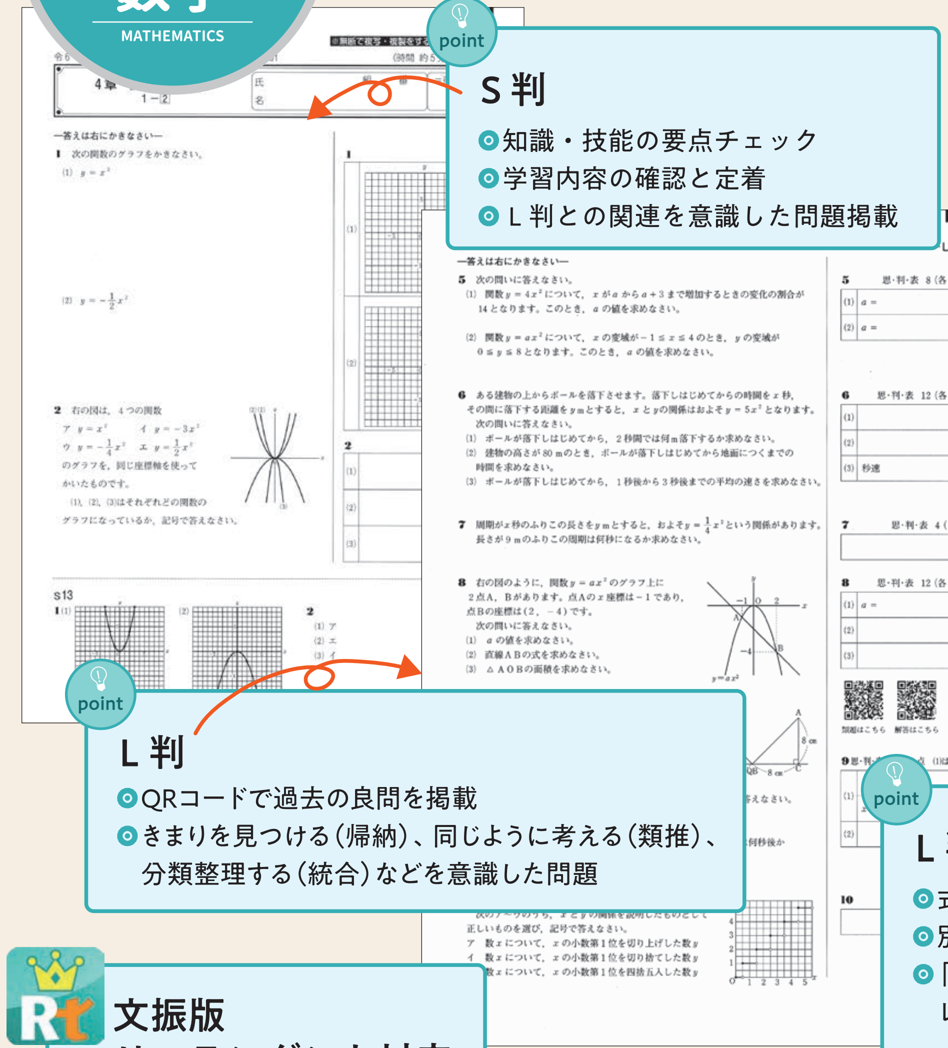
point
QRコード掲載…
◎自学自習の一助となるよう、「解答・解説」にQRコードを掲載しており、実験動画等を観ることができます。

文振版リアテンダント対応
◎誤認識を少なくするため、解答欄に変更を加えました。

編集委員の声
●理科の基礎・基本の定着を図る問題で構成しました。
●評価の観点を明記し、生徒が自ら振り返りができるようにしました。
●15分程度で取り組める問題量とし、授業時間内に使用できるものとしました。

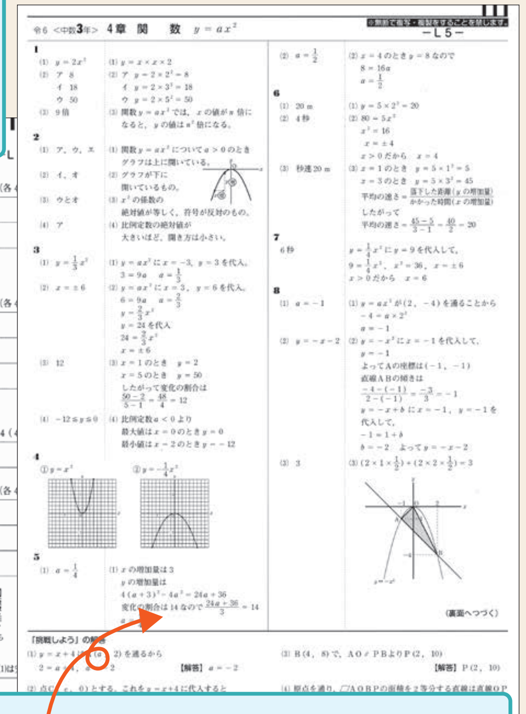
数学
MATHEMATICS

授業が変わる！ 学習が変わる！



point
S 判
◎知識・技能の要点チェック
◎学習内容の確認と定着
◎Ｌ判との関連を意識した問題掲載

point
L 判
◎QRコードで過去の良問を掲載
◎きまりを見つける（帰納）、同じように考える（類推）、分類整理する（統合）などを意識した問題



point
L 判解説
◎式に言葉を添え、解法のコツを紹介
◎別解による問題への多角的なアプローチ
◎「挑戦しよう」の問題はＡ規準や入試問題レベル

文振版 リアテンダント対応

生徒の声
●L判の解説がわかりやすい。図や言葉が、まるで学校の授業のようです。
●QRコードで類似問題があります。それらを解いて、解き方のコツがわかったときがありました。「もっとたくさん問題がほしい」、「別の解き方とか、解き方のコツみたいなものがあるといい」と言っている友達もいます。
●S判やL判と同じような問題が、教科書や数学の友に載っているので、この3つを使えば、テスト勉強はばっちりです。

教師の声
●他社のプリントを使っていた時は、授業をそのプリントに合わせたこともあり、正直、本末転倒のような気がしていました。でも、「数学演習」は授業で重点的に扱った問題と類似した問題が載っていることが多く、生徒の理解度を把握したり、自分の授業を評価したりするのに役立っています。
●教師用がPDFで配信されるようになり、図や表を拡大表示して解説することができます。そうすることで、「わかった」「わかりやすい」という生徒の声を聞くことが何度かありました。
●テスト前の自主学習用に使っていました。文振版リアテンダントが使えるようになってから、授業時間で取り組ませています。分析もすぐできるので、テストに向けた補充授業や個別授業に役立てています。

教室の窓辺

クラスタイムを活用した集団づくりの充実に向けて

高浜市立吉浜小学校　教諭　浜田　真衣

今年度は私にとって初めての小学校勤務です。担当は4年で、私の一日は子どもたちとの「おはようございます！」の元気なあいさつで始まります。春のスポーツ大会では学年全員で「ソーラン節」を全力で踊りました。毎日のきつい練習にも耐えぬき、教師からのアドバイスを素直に受け止め、忠実に取り組むことのできる学年です。そのような素直で元気な子どもたちと共に、充実した毎日を送っています。しかし、よさがある一方で、元気がゆえに授業に集中できなかったり、自分のことに一生懸命で仲間の意見に耳を傾けられなかったりする場面も見られます。先日行った学級力アンケートの分析結果によると、学級のよいところは「元気なところ」で、直した方がよいところは「授業中うるさいところ」でした。（資料参照）

クラスタイムの様子

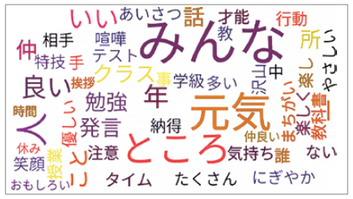
現在、このアンケートを基に、学級会を開いたり、道徳の内容項目や資料を学級の実態に合わせて実践したりするなど、子どもたちと共によりよい学級にしていくためにはどうしたらよいのかを考えながら、様々な活動に取り組んでいます。

特に今年度より始まった、毎日給食後15分間の「クラスタイム」では、一人一人の持ち味を大切にした温かい学級集団づくりに力を入れています。内容はゲームや遊びの要素を取り入れたレクリエーションのような活動で、私自身も試行錯誤しながら、実践に励んでいます。4月当初は、自己紹介も兼ね、タブレット端末のロイロノートを使った「自己紹介〇×クイズ」に始まり、サイコロトークなど、学級全体で楽しみながら、お互いのことをより深く知ることのできる活動を行いました。接続詞が書かれたカードを用いて、ペアでテーマに合わせたトークをしたり、4人から6人のグループを作ってグループ対抗のゲームトークをしたりするなど、学級の仲間と笑顔で活動しています。

子どもたちが目指す学級の姿は、「よいところはさらに伸ばせるように、直した方がよいところは学級全体で考え、よい方向へ進んでいけるようにすること」です。これからも子どもたち同士で改善策を考え、それを実施することで、よりよい学級へとつなげられるよう、クラスタイムを有効に活用しながら、目指す学級に近づけるようにしていきたいです。

【資料】

よいところ



直した方がよいところ

グループでの話し合い

浜田教諭は、中学校で7年の経験を経て、今年度より本校に赴任しました。初めての小学校勤務となりますが、常に子どもたちに寄り添い、子どもたちの声に耳を傾け、ともに考えながら笑顔で過ごしています。教員集団においても頼まれたことは快く引き受け、分からないことや思い悩むことは素直に話すなど、誠実さや謙虚さにいつも感心しています。

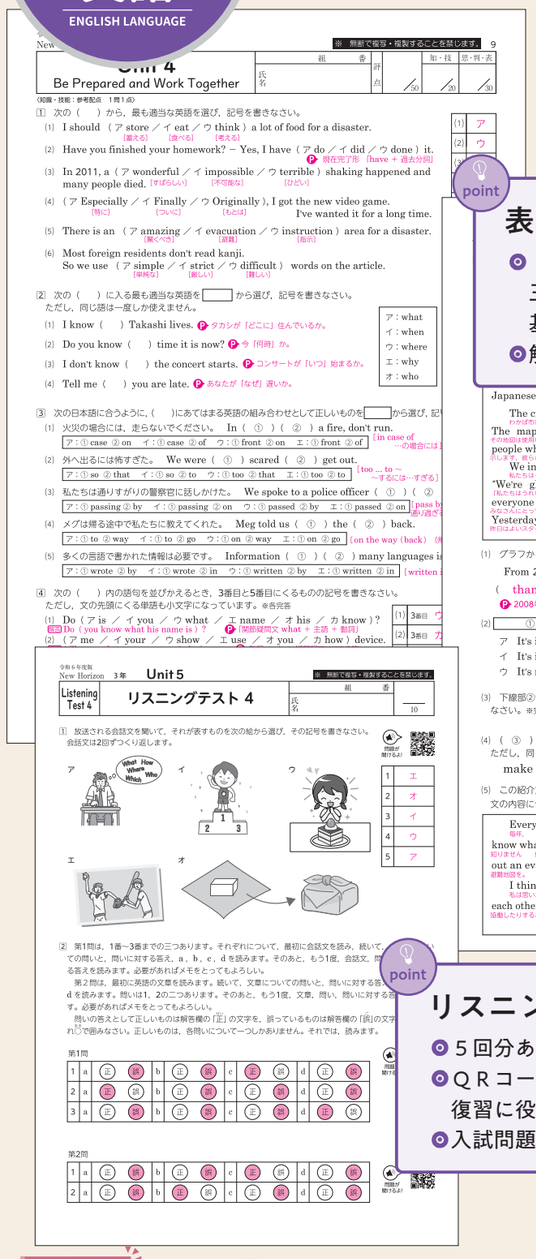
主体的・対話的で深い学びのある授業を目指すには自分が自分らしくいられる、自分を素直に表現できる学級集団があってこそだと考えています。そこで、本校では今年度から「クラスタイム」を設定し、「学級集団づくり」に力を入れてきました。浜田教諭も試行錯誤しながら、子どもたちのために日々努力を重ねています。今後もさらに実践を重ね、本校を支える存在になることを期待しています。

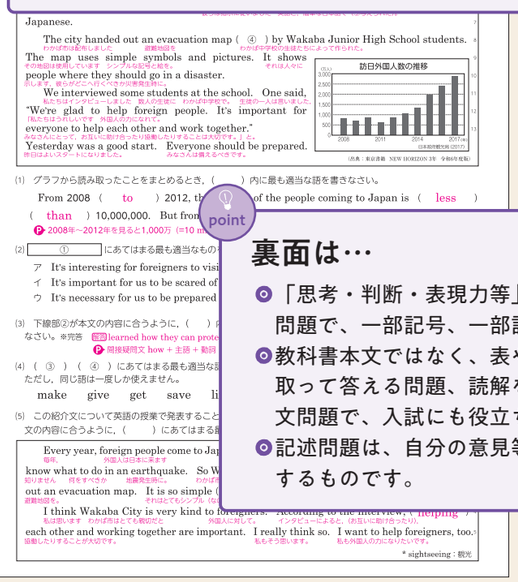
（校長　鈴木　剛）

ABC 英語 ENGLISH LANGUAGE

新たに

◎リスニング問題の裏面に、思考・判断・表現力等を高める読解問題や英作文の問題を掲載します。





文振版リアテンダント対応

◎解答には赤字で解説が記述してありますので、自学自習にも活用できます。

表面は…

◎「知識・技能」を中心とした問題では、生徒の生活や三河の文化や地域を取り入れた問題文により、基礎・基本の定着に役立ちます。

◎解答は、すべて記号、またはマークシート方式です。

裏面は…

◎「思考・判断・表現力等」を中心とした問題で、一部記号、一部記述で答えます。

◎教科書本文ではなく、表やグラフを読み取って答える問題、読解を中心とした長文問題で、入試にも役立ちます。

◎記述問題は、自分の意見等を英文で表現するものです。

リスニング問題では…

◎５回分あり、学期ごとの定期テスト前に実施できます。

◎ＱＲコードで、問題音源や問題文にアクセスすることで、復習に役立ちます。

◎入試問題のようにマークシート形式も取り入れています。

生徒の声

●定期テスト前の学習に活用しています。

●自分のタブレットでリスニング問題をわかるまで何度も聞いています。

編集委員の声

●裏面の問題は、定期テストづくりの参考になります。

●マークシートの解答が多くなる中、記述式の問題はとても大切です。

●文振HPのモニターBOXに投稿することで、一緒に問題を作れます。

特色ある教育活動

―「郡市教育・研究助成」を生かした取組紹介―

未来ＳＯＵＺＯＵ

～対象を自分事化しながら追究し、考えを更新できる生徒の育成～

田原市立田原中学校長　山上　高弘

本校は、令和４年度に田原市教育委員会の研究委嘱を受け、教科指導についての研究を進めています。全校生徒約７００人の市内で最も大きな規模の学校です。素直な生徒が多く、学習にも前向きに取り組むことができますが、失敗を恐れて追究することをあきらめてしまったり、学校生活の諸問題の解決を他者に任せてしまったりする姿も見られます。そこで、これからの時代を生き抜く生徒たちに、「今までの常識や固定観念に捉われず、自分の思いを大切にし、自らの手で未来を切り拓き、よりよい社会を創造する担い手となってほしい」と願いを込めて、本主題を設定しました。

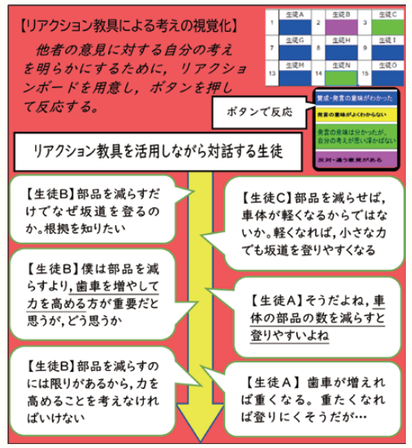
一　学習過程の工夫と手だて

本校では、全ての教科で問題解決的な学習過程を取り入れ、三つの段階を意識し、単元を構想しました。三つの段階とは、学習課題を自分事として捉え、解決に向けて動き出す「つなぐ」、問題解決に向けて必要な手段を考えて追究し、自分の考えを構築する「つくる」、他者と交流する中で、自らの考えを見つめ直したり深めたりする「つきつめる」です。各段階に合わせて、Ｆｉｒｓｔ、Ｓｅｃｏｎｄ、ＺｏｏｍインパクトＩと称した手だてを講じました。つなぐ段階のＦｉｒｓｔインパクトでは、対象に触れる場の設定や事象の違いを鮮明にする資料提示などにより学習意欲を高める手だてをとり、つくる段階のＳｅｃｏｎｄインパクトでは、対話や朱書きによる支援、自分の考えをまとめる場の設定などで、根拠のある自分の考えをもてるような手だてをとりました。

二　ＺｏｏｍインパクトＩによる生徒の変容

つきつめる段階のＺｏｏｍインパクトＩでは、タブレットのリアクション教具の活用、意見交流の場の設定、新しい考えや気づきの見える化、実験で確かめる場の設定のような焦点化の手だてをとり、生徒の考えに揺さぶりをかけ、より考えを深める授業展開となるようにしました。２年技術・家庭科の「エネルギー変換の技術」の学習では、自作したモーターカーについて、自分の考えの根拠をもとに語り、他者の意見や考えを取り入れてよりよく考える姿を目指しました。「部品の数を減らしたい」と考えた生徒Ａは、リアクション教具の意見をもとに友人と交流し、友達の反対意見を受容して「歯車を増やした方が坂道を登りやすくなるのか確かめたい」と考えを深めていきました。

モーターカーの工夫を説明する様子



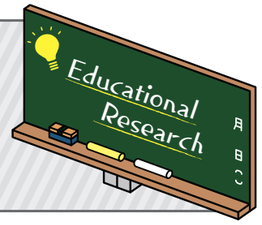
リアクション教具を活用した話し合い

三　成果と今後の取り組み

この単元構想と手だてにより、対象（題材や事象）に潜む問題を自分事として捉え、継続して問題に取り組む姿や、根拠を明確にした考えをもつ姿を引き出すことができました。

今後も、事象やテーマに出会うだけでなく、対象である「人・もの・こと」と生徒の思いや興味関心をつないだ単元や教材の開発を継続して行い、未来を「想像」し、よりよい社会を「創造」していく生徒の育成を目指し、職員一丸となって研究を進めてまいります。

令和６年度　個人研究助成



本法人では、先生方の研究を支援しています。本年度は、１年次研究、２年次研究、３年次研究において、以下の先生方を助成しました。３年次研究を終え、研究成果論文を提出された先生方を対象に、最終審査を行い、来年２月に優秀論文の表彰式を開催します。

〈１年次〉（199名）

研究領域	郡市	学校名	氏　名
国語(小)	岡崎	男川小	久田　義純
	岡崎	緑丘小	森田　萌衣
	岡崎	六名小	黒柳　萌子
	岡崎	秦梨小	橋村　潮
	岡崎	岩津小	佐野　友祐
	岡崎	上地小	杉本　光
	岡崎	北野小	中村かんな
	豊田	梅坪小	甲斐穂乃香
	安城	安城中部小	吉原　理奈
	安城	安城南部小	川本二千翔
	安城	桜井小	伊藤　紀衣
	西尾	西尾小	糟谷　杏莉
	西尾	花ノ木小	山野　未貴
	西尾	花ノ木小	岩田　大地
	西尾	鶴城小	高木　詞音
	西尾	三和小	市村　実紅
	西尾	横須賀小	加藤　豪
	西尾	横須賀小	竹島　実優
	西尾	横須賀小	石井　葵
	西尾	荻原小	髙須　大喜
	知立	猿渡小	一色　逸斗
	幸田	中央小	髙井　純輝
	豊橋	汐田小	山本　文香
	豊橋	岩西小	菅沼　実穂
	豊川	牛久保小	山本　芽以
	豊川	赤坂小	宮本　百菜
	蒲郡	蒲郡北部小	上田　拓真
	新城	八名小	中尾　茉白
国語(中)	岡崎	北中	松下　大樹
	岡崎	六ツ美北中	上本　芽依
	豊田	若園中	氏岡　武
	蒲郡	塩津中	小林　芽生
	田原	東部中	牧野　湧生
	田原	田原中	柴田　賢
社会(小)	岡崎	六名小	康本　健吾
	岡崎	六名小	村田　修也
	岡崎	上地小	山内　瞬
	刈谷	富士松北小	水野　晋作
	西尾	花ノ木小	原田　崇史
	西尾	鶴城小	渡邉　航成
	知立	知立小	木股　和希
	幸田	幸田小	鈴木　佑基
	豊橋	岩西小	澁谷　圭祐
	豊橋	玉川小	山中　一也
	豊橋	賀茂小	川口　健
	蒲郡	蒲郡北部小	古谷　敦稀
	蒲郡	竹島小	坂部　公亮

研究領域	郡市	学校名	氏　名
社会(中)	岡崎	甲山中	寺脇ゆうろ
	刈谷	刈谷南中	古橋　功嗣
	刈谷	刈谷南中	杉浦　碩恭
	安城	安祥中	横山　勝
	西尾	一色中	廣瀬　陽平
	西尾	幡豆中	小山　双葉
	豊橋	高師台中	野口　貴大
	豊川	音羽中	石川　琴美
算数(小)	岡崎	愛宕小	下村　和人
	岡崎	岩津小	森　雅琴
	岡崎	小豆坂小	伊藤　岳陽
	豊田	山之手小	山中　海人
	豊田	野見小	古野　正人
	豊田	中山小	大寺　佳祐
	安城	安城西部小	河合　風南
	安城	安城西部小	本多　優衣
	安城	錦町小	長谷川佳歩
	安城	桜井小	杉浦　真一
	安城	祥南小	村松　春香
	安城	丈山小	柳沢　夏帆
	安城	三河安城小	伊藤　潤音
	西尾	一色中部小	加藤　千秋
	豊橋	福岡小	藤城　勇輔
	豊橋	鷹丘小	内藤　亜実
	豊橋	豊南小	中川　浩充
	豊川	牛久保小	伊藤　紗羽
	豊川	一宮西部小	塩野　将大
	蒲郡	三谷小	中川　侑河
数学(中)	岡崎	甲山中	手嶋　夕菜
	岡崎	甲山中	石川　壮
	岡崎	翔南中	磯部　翔
	安城	桜井中	長瀬　史奈
	西尾	鶴城中	松岡　蒼志
	新城	東郷中	権田　航世
	田原	田原中	福井　香里
理科(小)	豊田	中山小	湯澤　貴司
	西尾	津平小	松碕　和樹
	高浜	港小	林　祐有香
	豊橋	牟呂小	鈴木　靖朗
	蒲郡	蒲郡東部小	羽田　彩乃
	田原	田原中部小	鈴木　健斗
理科(中)	岡崎	竜海中	脇田　貴斗
	岡崎	竜海中	後藤　英太
	岡崎	矢作中	山本　彩乃
	岡崎	北中	浅野　友花
	岡崎	北中	磯貝　駿斗
	岡崎	翔南中	柴田　翔平

研究領域	郡市	学校名	氏　名
理科(中)	岡崎	翔南中	渡邉　翔也
	安城	篠目中	鈴木　準佳
	西尾	寺津中	稲塚　彩乃
	西尾	一色中	大竹　広和
	知立	竜北中	山口　弘美
	幸田	幸田中	望月　志朗
	幸田	南部中	原田　裕希
	蒲郡	中部中	中後　颯馬
音楽(小)	豊田	大沼小	中野　楓菜
	安城	桜町小	牛之濱聡美
	西尾	津平小	岡安　菜月
	西尾	幡豆小	新實　夏苗
音楽(中)	碧南	南中	犬塚　陽子
図画工作(小)	岡崎	竜美丘小	横田　舞
美術(中)	安城	安城南中	宇井　貴輝
	幸田	幸田中	神田　朗佳
	北設	設楽中	市川　仁彩
技術・家庭(中)	西尾	福地中	大西　雄己
	幸田	北部中	安田　春華
	蒲郡	塩津中	後藤　妃菜
体育(小)	岡崎	愛宕小	中崎　光祐
	岡崎	奥殿小	近藤　弘崇
	岡崎	上地小	榎本　隼大
	岡崎	北野小	福地　美咲
	刈谷	朝日小	牧野　晃大
	安城	安城中部小	三原　惇史
	安城	桜井小	中野　僚哉
	西尾	西尾小	加藤よしの
	西尾	米津小	梅田　弘貴
	高浜	高取小	佐野　博之
	豊橋	羽根井小	芳賀　紀昌
	蒲郡	蒲郡南部小	稲石　享哉
	北設	東栄小	細野　華子
保健体育(中)	岡崎	矢作中	鷲野　祐一
	西尾	幡豆中	米村　拓人
	高浜	南中	下間　一樹
	豊橋	東陽中	佐藤　滉生
	豊川	御津中	酒井　玲奈
	新城	東郷中	真田　晃次
外国語(小)	岡崎	緑丘小	杉本　成弘
	岡崎	緑丘小	杉浦　健太
	岡崎	矢作西小	萩原　光彦
	豊橋	岩西小	山﨑布実子
	豊橋	賀茂小	大髙　翔
外国語(中)	岡崎	竜海中	前田伊万理
	豊田	前林中	小島　隆平
	安城	安城南中	佐久間敦士

研究領域	郡市	学校名	氏　名
外国語(中)	安城	桜井中	杉浦　紘巴
	安城	安祥中	中山　久美
	西尾	寺津中	鈴木枝美里
	西尾	一色中	澄川　朋岬
	みよし	三好中	加藤淳之介
	幸田	北部中	山田　奈侑
	豊橋	東陽中	藤井　大裕
	豊橋	南部中	狩谷　慶乃
	豊橋	南稜中	志賀　達也
	豊川	金屋中	板倉　雅幸
	蒲郡	三谷中	白澤　義顕
	田原	田原中	鈴木　彩里
生活(小)	岡崎	美合小	田尻　悠珠
	刈谷	衣浦小	木下　誠子
	安城	安城東部小	中森　遥香
	安城	高棚小	景川　千裕
	西尾	寺津小	杉浦香央里
	西尾	寺津小	吉村　尚夏
	知立	猿渡小	伊藤　海
	豊橋	福岡小	伊藤　真綾

研究領域	郡市	学校名	氏　名
生活(小)	豊川	金屋小	木村　健人
	蒲郡	蒲郡南部小	鳥居　雅弘
	蒲郡	蒲郡東部小	坪田ちはる
	蒲郡	中央小	高橋　彩
	蒲郡	三谷東小	成田　夏凜
道徳(小)	岡崎	男川小	鈴木　杏子
	岡崎	北野小	高見　香澄
	豊田	五ケ丘小	法山　剛
	豊田	中山小	稲垣　彩夏
道徳(中)	岡崎	矢作中	竹中　徹
学校保健(小)	西尾	津平小	近藤　玲奈
特別支援教育(小)	岡崎	愛宕小	渡邉　乃恵
	安城	桜井小	仲田　知佳
	安城	桜井小	竹下莉津子
	西尾	津平小	廣瀬　結
	みよし	三吉小	實松　香澄
	豊橋	杉山小	髙嶋　東
	田原	泉小	大羽　洋平
特別支援教育(中)	豊田	前林中	古澤　慎也

研究領域	郡市	学校名	氏　名
総合的な学習(小)	岡崎	形埜小	葛谷　航貴
	岡崎	下山小	岩口　愛実
	碧南	西端小	小島　美保
	安城	安城東部小	髙野　翼
	西尾	西尾小	齋藤亜里沙
	蒲郡	蒲郡東部小	冨樫　莉子
	蒲郡	西浦小	髙橋　勇気
総合的な学習(中)	西尾	福地中	村瀬　勇斗
	豊橋	南稜中	戸田陽加利
情報教育(小)	西尾	福地南部小	岩田　瑠一
	西尾	佐久島しおさい	藤本　裕大
特別活動(小)	豊田	浄水北小	三俣　翔
	安城	里町小	加藤　大希
	高浜	高浜小	木場　裕人
	田原	清田小	廣中　将太
特別活動(中)	豊田	石野中	根岸　恭志
その他(小)	岡崎	緑丘小	杉浦　美音
	みよし	緑丘小	伊藤　美保
	新城	作手小	鈴木有里子

〈2年次〉(50名)

研究領域	郡市	学校名	氏　名
国語(小)	岡崎	梅園小	磯田ひかる
	岡崎	梅園小	髙橋　侑也
	豊田	飯野小	大浦　陽太
	安城	錦町小	北村　亮
	安城	二本木小	杉浦　志保
	西尾	横須賀小	吉國　胡桃
	幸田	中央小	山本　治加
	豊橋	羽根井小	松下　華子
国語(中)	岡崎	竜海中	緒方　涼子
	刈谷	雁が音中	谷山　孝直
社会(小)	岡崎	細川小	江本　望
	知立	知立東小	鈴木　倭音
	豊橋	牛川小	服部　誠也
社会(中)	岡崎	岩津中	萩原　緑
算数(小)	岡崎	大門小	岩野　慎也
	豊田	大林小	舘山　俊平
	西尾	横須賀小	天野　寛万

研究領域	郡市	学校名	氏　名
算数(小)	豊橋	栄小	中村　紗菜
	田原	赤羽根小	河合　志奈
数学(中)	岡崎	葵中	河上　翔太
	西尾	鶴城中	中根　佑香
	豊川	中部中	河野　郁弥
理科(小)	岡崎	矢作南小	鈴木　真登
	新城	鳳来寺小	中島　智之
理科(中)	岡崎	六ツ美北中	萩原　美緒
	蒲郡	大塚中	飯塚　弦奨
音楽(小)	岡崎	梅園小	今井　千扇
図画工作(小)	刈谷	日高小	榊原　碧
美術(中)	岡崎	六ツ美北中	三浦　祐揮
	西尾	鶴城中	工藤　彩加
体育(小)	岡崎	矢作東小	野村　隼斗
	岡崎	小豆坂小	康本　慎吾
	西尾	西尾小	渡邉　瑞貴
保健体育(中)	岡崎	美川中	小田　琴音

研究領域	郡市	学校名	氏　名
保健体育(中)	岡崎	葵中	後藤　麻由
	岡崎	矢作北中	茂木　瑞恵
生活(小)	岡崎	梅園小	豊田　凌士
	岡崎	下山小	杉浦　康平
学校保健(小)	岡崎	生平小	中村さくら
特別支援教育(中)	岡崎	南中	蜂須賀一輝
	豊橋	南稜中	福岡　曜子
総合的な学習(小)	新城	八名小	藤原　翔子
	岡崎	根石小	今泉　雄大
	豊田	冷田小	藤城　秀幸
情報教育(小)	岡崎	大樹寺小	長瀬　太一
	豊橋	松山小	川上潤一郎
特別活動(中)	岡崎	城北中	見市　達俊
その他(小)	豊田	東保見小	田畑　ユキ
	豊田	足助小	城殿　祐嘉
その他(中)	豊橋	南稜中	藤田　裕誉

〈3年次〉(9名)

研究領域	郡　市	学校名	氏　名	研　究　主　題
国語(小)	豊川	八南小	山本　真衣	根拠をもって思いを伝え合い、ともに読みを深め合うことができる子の育成
国語(中)	刈谷	雁が音中	高島　望	ＩＣＴ機器を用いて、粘り強く表現を見つめ協働的に考えを深める生徒の育成
社会(小)	蒲郡	蒲郡東部小	鈴木　暁之	社会科的な学びを深める過程で、総合的な有能さを獲得していく子の育成
数学(中)	蒲郡	塩津中	石原　佳奈	自ら追究し、学びを実感する生徒を育てる数学学習
理科(中)	岡崎	翔南中	松井　昭憲	実生活で出会う自然事象の理解に向けて、他者と協働的に関わり合う中で、新たな課題や創造へ思考を発展できる生徒の育成
音楽(小)	刈谷	衣浦小	河治　真未	自ら感じ・考え・表現する子の育成
技術･家庭(中)	高浜	南中	織田　楓	よりよい生活の実現と持続可能な社会の実現に向け、解決策を構想し実践できる生徒の育成
道徳(小)	岡崎	竜美丘小	鈴木　幸太	自分たちでつくる道徳の授業
総合的な学習(小)	蒲郡	三谷東小	小泉　辰十	自ら追究し続ける子の育成

● 1～3年次申請の選考を終えて ●

本年度の個人研究助成の申請および交付状況は以下のとおりです。

１年次は251点の申請に対して199名への助成、２年次は187点の申請に対して50名への助成、３年次では43点の申請に対して９名への助成を行いました。

申請者は、教職経験10年未満の若い方が多かったのが印象的でした。１年次の方は授業の基本を押さえ、２、３年次の方は実践を進めることで、研究の質が高まり、充実したものとなっていました。本年度から１年次の締め切りが６月末になり、４月、５月と子どもたちの様子をしっかりと見たうえで、子どもの姿から研究を出発していると感じられるものが多くありました。今回の研究をとおして、校内で指導を受けた若い教師が、子どもたちとかかわりながら着実に力をつけていることが伺われました。

以下、選考審査において気づいたことを述べます。

＜１年次＞

・環境問題やウクライナ情勢など、今日的な課題をもとに子どもの探究心に火をつけ、子どもが主体的に追究し、教師もやりがいをもって研究を進める姿が伝わる、熱のこもったものが多くありました。ただ、研究主題を見ると、３年間の継続研究を意識するあまり、抽象的になっているものや、研究の目的、内容、方法のすべてが述べられていないため、研究のねらいがわかりにくいものがありました。

・目の前の子どもの実態をとらえ、願いをかけ、理論を構築しているため、何を明らかにしたいのかがはっきり伝わるものが多くありました。一方で、子どもの姿を漠然ととらえているため、目指す子ども像や仮説、手だてが凡庸となっているものもありました。また、理論のつながりがわかりにくいものや、手だてが「子どもの活動そのもの」、「場の設定のみ」に留まり、教師の具体的な営みが見えないものもありました。

＜２・３年次＞

・課題意識を引き出す場面、深いかかわり合いを創出する場面、振り返りの場面において、タブレット端末の効果的な活用を手だてとしているものが多くみられました。

・継続研究の中で明らかになった課題に対し、成果のあった手だては継続し、新たな工夫を加えるなど、研究の積み重ねがよくみられました。ただ、手だての有効性を示す資料が抜けている、あるいはイメージ写真のみ、文章の羅列のみというものがあります。目指す子どもの姿を明確にするとともに、講じた手だてによる子どもの変容を、資料をもとに論述することで、説得力が増します。

中神和也　審査委員会副委員長（豊橋市立汐田小学校長）

研究成果論文提出者の紹介（令和３～令和５年度の研究）

令和３年度を研究１年次として、令和５年度までの３年間、着実に研究を推進され、その成果を見事に論文として提出された10名の先生方を紹介します。

Research result report

国　語

知立・知立南中　**山田　啓介**

ICT機器の活用によって、物語への理解を深める読みの指導

社　会

田原・田原中部小　**津田　将吾**

地域の人、もの、ことと関わることで、主体的・対話的で深い学びを引き出す社会科学習

社　会

田原・東部中　**岡田　泰輔**

仲間とかかわりながら主体的に取り組む子（生徒）の育成

算　数

知立・知立東小　**金原　正季**

協働的な学びで、よりよい考えを生み出すことのできる児童の育成

理　科

岡崎・岩津小　**小川　昇汰**

理科の見方・考え方を働かせ、自ら学びだす子供の育成を目指して

音　楽

豊田・朝日丘中　**福田　真美**

地域と連携した郷土芸能の体験活動を通して、地元の伝統芸能に愛着をもつことのできる生徒の育成

外国語活動・外国語

安城・今池小　**杉浦　稚子**

子どもの興味を引き付ける外国語（活動）のプレゼンテーション

道　徳

豊川・三蔵子小　**菊池　景子**

あたたかな人間関係の中で、対話を通して、主体的に学びを深める子の育成

学校保健

新城・新城小　**夏目　香**

自分の生活習慣をふりかえり、目の健康課題に気づき解決しようとする子の育成

総合的な学習

豊橋・東部中　**安田　晃治**

自ら幸せな生き方の視野を広げる子を育てる総合的な学習の時間

コンクール関係

みかわ彩発見絵画コンクール（秋・冬の部）

応募期間　令和６年12月16日㈪～令和７年１月14日㈫

かきぞめコンクール

応募期間　令和７年１月６日㈪～１月９日㈭

作品展（絵画・かきぞめ同時開催）

展示場所　三河教育会館

展示日時　令和７年２月７日㈮・２月８日㈯
午前９時30分～午後３時30分

優秀作品表彰式　令和７年２月９日㈰

使用報告・刊行物注文等締切

◇**使用報告**／冬休み日誌、かきぞめ手本、硬筆用紙、賞状
令和６年12月10日㈫～12日㈭

◇**令和７年度版刊行物第Ⅰ期当初注文**
令和７年１月７日㈫～16日㈭

□**刊行物学校モニター研究調査報告締切**
令和６年11月22日㈮

□**教育図書出版助成申請締切**
令和６年12月３日㈫

□**郡市教育・研究助成、学校教育ボランティア助成等報告締切**／令和７年２月28日㈮

モニターBOX

本法人のホームページ「モニターBOX（意見箱）」において、三河の小中学校職員、保護者、児童生徒の皆様から刊行物に対するご意見等を受け付けています。いただいたご意見等は、今後の事業の参考にさせていただきます。多くのご意見等をお待ちしております。

刊行物の正誤通知

本年度から、刊行物の正誤通知を「学校代表メール」に送付するよう変更しました。定期的にメールをチェックしていただき、通知があった場合は関係者に周知してください。誤りがないように編集に努めておりますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

Check!

新教科書に準拠!!

三河の先生方の手による、三河の児童生徒のための安価な刊行物!!

令和7年度版刊行物

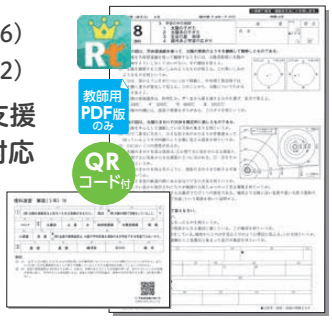
中学校版大改訂

～ デジタル資料満載 ～

●小学校版　小改訂（学習類5、それ以外16）
●中学校版　大改訂（演習類5、それ以外12）
●学習類・演習類は全てデジタル採点支援システム「文振版リアテンダント」に対応

令和7年度版デジタル化

教師用PDF版のみ　教師用PDF版のみ
教師用PDF版付　教師用PDF版付
QRコード付　QRコード付
文振版リアテンダントに対応



理科演習

数学の友

中学生の学級活動

※文振版リアテンダントを利用した先生方の声を、本法人HPに掲載しました。
ぜひ、ご覧ください。

訂正とお詫び　135号P13の学校教育ボランティア助成グループ一覧で誤植がありました。訂正してお詫び申し上げます。
田原・高松小　ボランティア　　正　杉原 邦典　　誤　杉浦 邦典

文振の最新情報は、ホームページをご覧ください。各種応募要項、申請書の様式等もアップしています。

教育と文化　令和6年11月1日号 No.136

発行／公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868　岡崎市明大寺町字馬場東170番地1

TEL 0564 - 51 - 4819
https://www.bunsin.org

※QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です。